

2026年7月1日

株式会社アンビスホールディングス

ジャーナリスト浅川澄一氏と当社看護師による座談会記事が掲載

株式会社高齢者住宅新聞社が発行する「高齢者住宅新聞」(2026年6月24日発行)において、福祉ジャーナリストの浅川澄一氏と株式会社アンビス(本社:東京都中央区、代表取締役:柴原慶一)看護部看護師による座談会記事が掲載されました。

本記事では、高まるホスピス住宅のニーズや病院、自宅との違い、医心館ならではの本人・家族支援、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)等について語り合いました。

下記リンクより記事全文をご覧ください。

■全文はこちらから

「座談会」ホスピス住宅とは アンビスの看護師に聞く
看取りの場に選択肢 本人の望む「終末期の過ごし方」を支援

https://www.amvis.com/_cms/wp-content/uploads/2026/07/fedd5b27fc119cfc350eafad2b2f1241.pdf

第848号 (週3回 毎週水曜日)
高齢者住宅新聞
2026.6.24 (毎週水曜日発行) (6)



アンビスホールディングス
看護部・地域連携部部長/看護師
八島 美奈子 氏



アンビスホールディングス 医心館運営本部
看護部副部長/がん看護専門看護師
高橋 めぐみ 氏



ジャーナリスト
浅川 澄一 氏

多死社会の進行や緩和ケア病棟の不足などを背景に、終末期を支える場として「ホスピス住宅」への関心が高まっている。高齢者住宅新聞社では、「医心館」を展開するアンビスホールディングス看護部の看護師らと福祉ジャーナリストの浅川澄一氏を招き座談会を開催。病院や在宅の違い、本人・家族支援、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)など、緩和看護師の役割などに絞って意見を交わした。(聞き手・高齢者住宅新聞社社長 頼谷 敏)

—ホスピス住宅のニーズが高まっている現状についてどのように見えていますか
高橋 医心館の利用者は、急性期病棟から来る方が約6割です。在宅からの入居もありますが、緩和ケア病棟から入居する方も約6%います。私が関わっている施設でも、「最期まで緩和ケア病棟で過ごせると思っていたのに退院調整になった」というケースが複数ありました。緩和ケアが薄く、必ずしも最期まで過ごせる場所ではないという現状があります。

岡田 私は大学病院で30年以上勤務してきました。看護師になった頃は病院で看取ることが当たり前でした。しかし在宅日数短縮が進み、今は治療が一段落する優先されるようになっていきました。当社は自宅で過ごしたいと希望する患者も、医療アドバイスが入っている理由で選択肢が限られてしまっています。本人は家で看たいけれど難しい。「病院を長くは待てない」といった現実を多く見えてきました。患者本人が「本当は過ごしたいのだから」と考えられる自由度が少なくなっているように感じています。

浅川 緩和ケア病棟は必要に対して大きく不足しています。病院としても次の患者を受け入れなければならぬため、ある程度状態が落ちれば退院をお願いせざるを得ません。また、緩和ケアやホスピスに携わる医師も足りていません。日本では従来「治す医療」が主流で、「死を考える医療」や「治し支える医療」が目指されていますが、まだ十分に浸透しているとは言えません。

さらに、民間事業者による「ホスピス住宅」に比べてニーズと関心が高まる中、そもそも「ホスピス」という存在そのものが社会に見えていません。欧州ではホスピスが独立した施設として地域に存在していますが、日本では病院の一病棟として設置されているケースが大半です。社会全体として死について考える機会が少ないことも背景にあると思います。

病院とホスピス住宅では、患者の暮らし方や看護師の役割にどのような違いがありますか
高橋 病院では状態が悪くなればモニターを付ける、検査を行うという流れが主流です。そのため最終的になるべく、どうしてもピークを回すことが中心になりやすい面があります。病院の看護師がすべてを担っている意味ではありませんが、特に終末期の場には「人」そのものよりの「ケア」を診ることに意識が向きます。傾向はあるかと思えます。

岡田 看護師に求められる「変化に気づく」という役割そのものは変わりませんが、ただ病院では、その気づき治療につながりま

看取りの場に選択肢

本人の望む「終末期の過ごし方」を支援

座談会

ホスピス住宅とは

アンビスの

看護師に聞く

■アンビスグループが運営する「医心館」概要

医心館は、通常の介護施設では受け入れが困難な「がんの末期状態にある方」、「人工呼吸器を装着されている方や気管切開を受けている方」、「神経変性疾患など特定疾患の方」、「お看取り対応の方」などを積極的に受け入れ、看護師・介護士による24時間365日の安心ケアを提供する有料老人ホームです。地域の医療機関や薬局、介護事業所と積極的に連携し、地域医療のプラットフォームとして機能しています。

※2026年4月末時点において、137施設7,108名を運営。

<会社概要>

社名：株式会社アンビスホールディングス

所在地：東京都中央区京橋一丁目6番1号 三井住友海上テプコビル7階

代表者：柴原慶一

設立：2016年10月

事業内容：医療依存度が高い方を対象とし、24時間365日の手厚い看護・介護ケアに特化したホスピス住宅「医心館」を運営する。近年は基盤領域としての医心館事業に加え、成長領域として医療機関等の経営支援に携わる総合医療支援事業にも力を入れる。

<問い合わせ先>

株式会社アンビスホールディングス

TEL：03-6262-5105 E-MAIL：ir_contact@amvis.co.jp URL：<https://www.amvis.com>